



インスピレーションになろう



バリー・ラシン
2018-19年度国際ロータリー会長

No.10

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“価値あるロータリーを”

- ①居心地のいいクラブ
- ②いつでもどこでも誰とでも親睦
- ③会員同士が刺激しあい、尊敬しあい、お互いの活力になろう
- ④ロータリーの価値を意識しよう

例会記録 (2018. 9. 14 (金)) 通算3,184回

◆開会

◆ロータリーソング「我等の生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆ゲスト紹介

株式会社カネカ 上田 実様

◆歓迎歌「松の緑」

◆プログラム予定

9月21日 (金)	9月28日 (金)	10月5日 (金)	10月12日 (金)
高砂青松RCとの合同例会 (ウエディングパレス鹿島殿) 「名物機長の“夢実現”」 元ANA機長 山形 和行氏	卓話「自己紹介」 JPW 富沢康雄 会員	卓話「米山奨学について」 信原智彦 委員長	休会 (定款8条第1節(C)による)

◆出席報告

本日9月14日 会員数42名 出席者27名 出席率71.05%
前々回8月31日 会員数43名 修正出席者41名 出席率95.35%修正



親睦・出席委員会
西田秀雄 委員長

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

坂井 智代会長……株式会社カネカ上田実様、本日はお忙しいなかご講演いただきありがとうございます。卓話の手配をしてくださいました落合会員ありがとうございます。

後藤 宗久幹事……上田様、本日は卓話よろしくお願ひします。

大村 泰司会員……出席100%（25年）のお祝いありがとうございました。



S.A.A. 高木史郎 委員長

◆幹事報告（3,184回）

〈国際ロータリー第2680地区より〉

1. 2018年9月は「基本的教育と識字率向上月間」です。月間リソースの案内が届いておりますので回覧にて確認ください。
2. ロータリー財団室ニュースが届いております。回覧に入れておりますので確認願ひます。
3. 地区補助金プロジェクト見学訪問のご案内が届いております。

(1) 和田山ロータリークラブ

11月8日（木）養父市八鹿町 ショッピングタウンペア

プロジェクト名：障害者絵画レンタル活動の支援

(2) 赤穂ロータリークラブ

日時：10月14日(日)

13:30～

場所：赤穂市文化会館

プロジェクト名：青少年を犯罪から守る講演
会と防犯カメラの設置



後藤宗久 幹事

〈例会変更のお知らせ〉

1. 高砂青松ロータリークラブ

10月10日(水) → 休会

2. 加古川中央ロータリークラブ

9月27日(木) → 休会

10月 4日(木) → 3クラブ合同例会のため、18時～に変更
(加古川プラザホテル)

10月25日(木) → 18時～に時間変更 加古川プラザホテル 1F ボールルーム

3. 加古川平成ロータリークラブ

10月 3日(水) → 10月4日(木) 18時～に変更 3クラブ合同例会のため

10月31日(水) → 休会

〈その他〉

◎社会福祉法人 高砂市社会福祉協議会 植原理事長より、団体会員加入に対してのお礼状が届いております。

◆会長の時間

9月9日(日)、RI会長方針である「ロータリーデー開催」の一環として「加古川楽市」で行われたポリオ撲滅・募金活動に後藤幹事とともに協力参加させていただきました。加古川ロータリークラブ岡田義則会長と地区ポリオプラス委員会喜多美雄委員長と一緒にステージにも上がらせていただきました。一般市民の方々にポリオ撲滅への熱い思いを語る岡田会長の横で私はニコニコと立っているだけでした。ロータリークラブ会長として自らが地域住民の前に立ち語られる岡田会長の姿に学ぶべきことが多くありました。立派なイベントに暖かく迎え入れてくださった加古川クラブの皆様には感謝しています。



坂井智代 会長

ところで皆さんは街頭に立って募金活動をしたことがありますか？私は一切ありません。それどころか街頭で学生たちが「〇〇のために協力してください」と大声で募金活動をしているのをみると、わざと近づかないように目をあわさないように歩いてきました。彼や彼女らのパワーを脅威にさえ感じ、近づいてはいけないものだと思っていました。そのような私がこのたびはじめて募金活動に参加させていただき、募金活動への意識が180度変わりました。今回の募金活動をしてみてどう感じたか話します。はじめは、「さ

あ募金活動をするぞ、募金活動というからには多くの収益をあげなきゃ、効率よく収益あげるにはどうしたらいいか」を考え、知人をみつけては大声で勧誘し追いかけてなかば強制的に募金を入れてもらいました。しかしそれも限界があり知人も多くはいません。やはり大事なのは一般市民です。では一般市民にどう周知してもらおうのか。様々な募金集めの作戦があると思いますが、今回の私たちの狙い目は子供達でした。ブースで座っているとちょうど視線が子供達と同じになるので、そこで子供達においでおいでをすると子供達は近寄ってくるのです。大人は過去の経験からか警戒心が強くなかなかブースには近づいてきませんが、子供達は警戒心が少なく興味だけで近寄ってきます。そこでまず「寄付をしてくれたらおもちゃを渡すよ」と話しかけ、次に「僕がこの景品をもらってくれて少しのお金をいれてくれたら外国の子供達の病気が防げるよ」「金額は気持ちだから10円でもいいよ」と話しました。この行為の是非はともかく今回あらためて認識したことは、募金活動には大きく二つの意味があって、一つは活動資金の調達ですが、もう一つは、活動を知って欲しい・話を聞いて欲しいと言う気持ちです。そして子供達は警戒心なく理解しようとしてくれるということです。残念ながら我々大人は過去の経験からか懐疑的だったり自分の興味ないものには関わりたくないという気持ちから、募金への気持ちに抑制がかかります。私には昔から、神社仏閣に行くときは小銭をたくさん用意し小さな仏像の前にも1円5円10円という単位でお金を置いていく癖がありました。あまり深い意味はなく、なんとなくいいことをしているつもりで風習みたいに置いていました。賽銭を置くのはお寺への寄付でしょうか。いや、本音はどこかで自分を救って欲しい、力を与えて欲しいという自分への気持ちがあったかもしれません。が、その金額は1円5円10円です。子供達に寄付をお願いしてみたわかったのは、募金は金額じゃなく募金活動への興味と少しの気持ちをいただきたいのだと思いました。前にきてくれて、5円10円でもいただければ、それは通り過ぎてしまう0円よりも100倍の価値があるのだと思いました。募金とは、金額ではなくて、心を豊かにする行為なのかもしれません。私はこれまで街頭の募金箱から逃げてばかりいましたが、今回の経験から、ほんの少しの勇気をもって、街頭の募金活動にも子供達みたいに10円を握りしめ近づいて、話を聞いてみようかなと思いました。ロータリーの掲げるアイサーブの実践はこんなところにもあるのかもしれないと思ったりする私です。このたびの貴重な体験をさせていただいた加古川ロータリークラブはじめ東播第2グループのお仲間と高砂クラブへ感謝いたします。



◆本日のプログラム



プログラム委員会 落合計夫委員

卓話 「新規 乳事業への参入秘話」

株式会社カネカ 上田 実 様



坂井会長と株式会社カネカ上田実様

会 長 坂井 智代 幹 事 後藤 宗久
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 豊田 克義
例会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/